

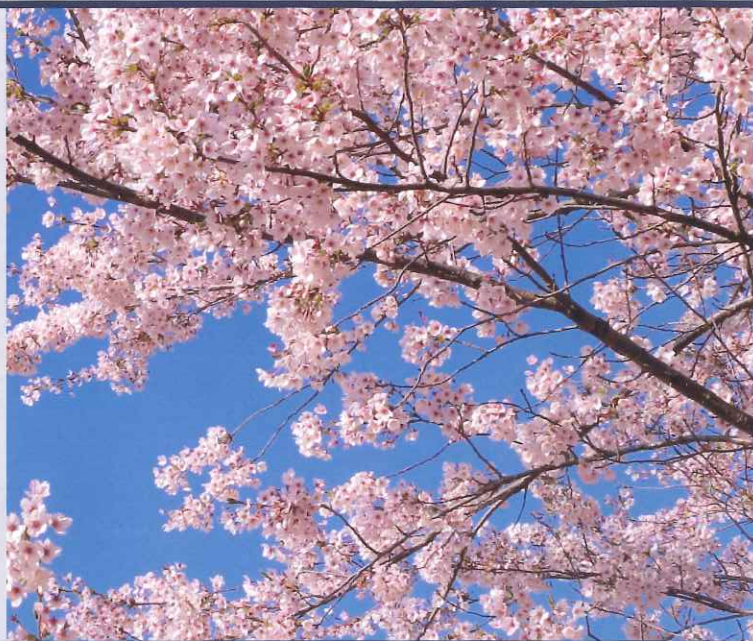
ふれあい

2025

4

No.457

牛久愛和総合病院 広報誌



「新年度のご挨拶」

常仁会グループ理事長

たねだ よしろう
種子田 吉郎



2025年度を迎えるにあたり皆様にご挨拶申し上げます。

新年度のはじまりと共に「牛久愛和総合病院」へ68名、グループ全体では148名の新入職員を迎えることができ、大変心強く思っております。

昨年は1月1日、多くの方が新年を祝っているなかで発生した能登半島地震にはじまり、台風10号や奥能登豪雨など、気候変動に伴う災害の激甚化を感じる1年となりました。大規模な自然災害が増えておりますので、当院も災害派遣医療チームを整備し、災害時の医療の一助を担うべく備えています。(茨城県で18番目の地域災害拠点病院の指定を受けております。)経済情勢では、コロナ後の世界の中で需要の回復があるものの、紛争によるエネルギー・食

料供給の不安定化などの影響もあり、原材料価格の高騰や円安などを背景とした物価高、金利の世界的な上昇や、国際情勢の複雑化など、将来のことが漠然と不安になるニュースが多かったように思います。

2025年は団塊の世代が全て後期高齢者となる超高齢化社会に突入する年となります。茨城の県南地域の人口は転出よりも転入の人数が多い状態で、若い世代の人口が増えているとはいえ、全国的に社会保障費の増大が予想される中、医療・介護従事者の不足が大きな課題となっております。

2025年4月より、つくば市にある筑波大学整形外科より、新たに4名の常勤医師を派遣いただく運びとなりました。これにより充実した医療環境の提供に貢献できるようになりました。

常仁会グループは4つの医療法人と2つの社会福祉法人で構成され、「牛久愛和総合病院」を中核施設とし、茨城県、新潟

県、高知県、福岡県、宮崎県において全16施設を運営しております。牛久愛和総合病院は「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最善の医療・福祉を提供することを理念とし、その向上に日々努めております。

また、当院は地域を担う中核施設として皆様が安心して生活できるよう地域医療に貢献し、「地域医療支援病院」の認可を目指しております。今後も関連施設である介護老人保健施設春秋園、ひたち野ステーションクリニック、特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久と連携を図り、チームレスに最善の医療・介護サービスを提供するために職員一丸となって取り組んで参りますので今後とも牛久愛和総合病院をよろしく願ひ申し上げます。

最後になりますが、本年が皆さまにとって明るい未来の光が差し込む一年となりますよう祈念し、新年度のご挨拶とさせていただきます。

牛久の皆様の健康に寄り添い1周年!!

エスカード牛久

皆さん、こんにちは。認定看護師あゆみ会です。

2024年6月よりエスカード牛久において看護相談を再開しもうすぐ1年が経過します。再開からこれまで計10回の実施をさせていただきました。血圧測定から、自身やご家族が抱えている健康問題・介護についてたくさんのご相談をいただきました。また、1回目のご相談後にも足を運んでいただき経過を確認させていただく機会や、開催時に通っていたおなじみさんもできました。地域住民の皆様と接する機会が増え、困っていることを伺うことで私たちあゆみ会でも看護相談に必要な物品やパンフレットを検討するなどバージョンアップを図っています!!

看護相談には当院の認定看護師、感染制御実践看護師が引き続き担当させていただきます。

次年度も多くの方と接し、皆様安心して日常の生活を送れるよう下記日程で看護相談を実施させていただきます。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

C4階 看護副師長 橋本 由美

【日付(予定)】

4月21日、6月16日、7月28日、
8月18日、9月22日、10月20日、
11月17日、12月15日、
2026年1月19日、2月16日、
3月16日

※看護の日イベント※
5月19日

【時間】

13:30~15:30

【場所】

エスカード牛久2階
からくり時計前

専門の知識を持つ看護師が相談に対応します

摂食嚥下障害看護
認定看護師

食事の飲み込みづらさ・食欲低下

がん化学療法看護
認定看護師

がんの治療・検診

皮膚・排泄ケア看護
認定看護師

スキンケア・尿失禁・人工肛門のケア

脳卒中看護
認定看護師

脳卒中・生活習慣病のこと

感染制御実践看護師

生活の中での感染症の予防

認知症看護
認定看護師

認知症の人・家族の悩み事

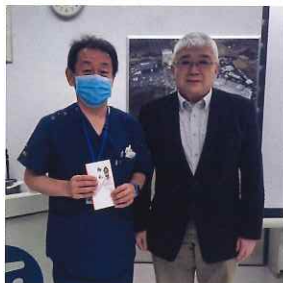
牛久市歯科医師会 救急講習会の開催について

歯科口腔外科 部長 河地 誉

2025年3月8日に、当院にて牛久市歯科医師会救急講習会が開催されました。本会は、歯科医院における救急時の対応、従来より使用されていた救急薬剤の見直しを図ることを目的としました。会の冒頭では当院救急医療科部長 佐藤孝幸先生より「歯科医院での急変時対応―緊急薬剤を使いこなそう―」と題して、歯科医院で起こり得る救急事例が供覧され、その具体的な対応について講演していただきました(写真1)。そして、静脈確保、エビベン(アナフィラキシー補助治療剤)の使用に関する講習および実習を行いました(写真2)。

牛久市歯科医師会から19名の先生方の参加がありました。参加者からは多数の質問があり、活発な討議がされました。佐藤先生の豊富な経験を知ることができ、明日から使える実践的な知識を得ることができました。全身的な疾患を抱えている人でも、安心して歯科治療が受けられるよう、今後情報発信をしていきたいと思っています。

本会の開催にあたり、参加された牛久市歯科医師会の先生方、病院事務やスタッフの方に深く感謝を申し上げます。



(写真1) 宮本克樹 先生(牛久市歯科医師会会長)と佐藤孝幸 先生(当院救急医療科部長)



(写真2) 会の風景

DMカフェ

糖尿病・代謝内科

岩崎 祐子

みなさんは、「糖尿病」に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか。食べ過ぎで不摂生な人になる病気?自己管理ができない人になる病気?そのような誤った考えから、糖尿病の方が偏見や差別を受けてしまうことがあります。例えば、住宅ローン拒否された、就職や進学で不利をこうむったなどです。糖尿病に対する偏見から、糖尿病であることを隠し治療が遅れてしまうことにもつながります。糖尿病は血液中を流れるブドウ糖(血糖)の上昇を抑えるインスリンが不足または十分働かないために血糖が増える病気です。糖尿病の種類もいくつかあり、原因も様々で生活習慣や肥満とは関係なく発症するものもあります。「糖尿病」自己責任ではありません。多くの人が糖尿病を正しく知り、糖尿病の方が安心して暮らせる社会になるといいですね。

春秋園だより

仲春四月、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。今回は「四季の手紙」について、ご紹介させていただきます。

「四季の手紙」は春秋園の広報誌で、誌名があらわす通り、春・夏・秋・冬の年四回編集、発行しています。主に、新しくご利用を開始された利用者様のリハビリや普段の様子、各フロアで実施された行事の様子、もぐもぐ便り、春秋園からのお知らせ、などの記事を載せています。

コロナ禍以前は、面会制限がなく生活の場までご家族様を案内していたのですが、現在は、面会は出来るようになったものの、回数や場所を指定しており、ご利用者様の普段の様子を見たり、聞いたりすることに、ご不便をおかけしております。

また、愛和病院の奥に建物があるのは知っていても、介護老人保健施設がどんなところか分からない方も大勢い

らっしゃると思います。

「四季の手紙」では、園の雰囲気やご利用者様の様子をお伝えし、春秋園のことを少しでも知っていただけるよう、委員一同がんばっています。

ただ、普段の様子といいつつも、写真を撮ることは、利用者様も照れがあるため、なかなか自然な笑顔をみせることが難しいことがあります。もちろん、委員もそちらが専門ではないため、良い写真ばかりが撮れるとも限りません。でも、リハビリの時に写真撮影をお願いすると、下を向きがちで歩く方もしゃきつとされることがあったり、撮った写真を見て「恥ずかしいわ」といいながらも、笑顔になってくださったたり…撮影の中で新たに発見するご利用者様の様子もあつたりするのが、面白いところでもあります。

「四季の手紙」は、何よりもご利用者様の協力によってつくることができています。ぜひ、お見かけの際はお手にとってご覧ください。

(春秋園 広報委員会)

部署紹介

総合健診センター

次長 岡野 英之

当院の総合健診センターはA館3階に専用のフロアがあり、医師、保健師・看護師、事務、放射線技師、臨床検査技師で構成されております。今回は事務部門を紹介させていただきます。私たちは病院理念の柱のひとつである「予防医療」に携わっており、年間約3万人の方の健康維持と健康異常の早期発見に取り組んでおります。

主な業務として、受付や会計を行うカウンター業務、受診者様を次の検査のご案内するエスコート業務、健診結果作成や健康保険組合等への請求業務、外部(事業所・学校)で実施する出張健康診断など、各担当に分かれて業務を行っております。

健康診断は基本的には1年に1回となります。(特殊健診等を除く)私たちは1年に1回お会いする受診者様が「牛久愛和総合病院の総合健診センターで健康診断を受けてよかった、また来年も受けよう」と思っていただけ

よう日々の業務に励んでおります。今後も受診者様にとって安全・安心な医療体制と満足していただけるサービスの提供を全スタッフが一丸となり取り組んで行きたいと思

います。健康診断を定期的に受ける事によって自覚していない身体の変化を知ることが出来ます。健康診断についてご不明な点がございましたらお

気軽にお問い合わせください。

入職者

3月1日付

■看護師

看護師 矢口 晃士
患者様、ご家族様の想いを尊重し、よりよい看護を提供できるようにしていきたいと思

■看護師

西村 早織
明るく、元気に患者様に寄り添った看護ができるよう、日々自己研鑽に励んでいます。

■春秋園

■訪問看護

看護師 佐藤 匡
職員の皆さまに助言をいただきつつ、在宅看護を基礎から学んでいきたいと思

■総務課

事務 石川 雄大
縁の下の力持ちとして病院を支え、貢献できるように日々邁進してまいります。

■歯科

歯科衛生士 山本 智子
患者様の気持ちに寄り添い、安心して治療が行えるよう日々努めてまいります。

■春秋園

■リハビリ

理学療法士 後藤 辰哉
新しい環境でも、自分らしさを忘れずに利用者様に寄りそったリハビリを提供していきます。

■春秋園

■訪問看護

看護師副師長 宮川 麻美
愛和病院より転籍となりました。初の訪問看護業務ですが、患者さんに寄り添った看護を提供します。

《出来事ピックアップ》

ひなまつり

3/3

3月3日(月) ひなまつりを行いました。登園し色とりどりの浴衣や甚平に着替えると、ホールがパッと華やかになりました。子ども達も「かわいー！」と言われ、皆嬉しそうです。

集会では、年長児が陶器で作った人形を「これは、私が作ったひな人形です。」と大きな声で紹介し、歌や詩を朗読しました。緊張しないで堂々と伝えました。それから保育士のパネルシアターを見ました。小さい子達もよく見て、一緒に歌っていました。その



編集だより

新年度が始まりました。新人さんも、在職者も新たな気持ちで目標を立てて1年間頑張っていきましょう。私も今年はスキルアップ目標を立ててみようと思います。この「ふれあい」の中にもキーワードがあるかもしれませんよ！ (T・N)

後、皆で踊ってから、ひなあられを食べました。子ども達が健康で幸せに過ごせることを願っています。

(保育課係長 榊原)



病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最善の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般391床 医療療養型55床 地域包括ケア43床)

施設

敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1151台



診療科目

【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ・膠原病内科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科、血管内治療科

【専門外来】

内 科 (禁煙外来)
整形外科 (股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節)
小 児 科 (小児循環器、小児心理、小児免疫)
皮 膚 科 (レーザー外来)
外 科 (下肢静脈瘤外来)
ストーマ外来
そけいヘルニア専門外来
透析外来
内視鏡検査
検診検査 (乳がん検診)

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

救急 24時間



牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター Tel 029-873-4334
健康増進施設 スポーツリラックス Tel 029-874-8791
人工透析センター
読影センター
地域リハ・ステーション
介護老人保健施設 春秋園 Tel 029-870-3100
ひたち野ステーションクリニック Tel 029-896-6200
特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久 Tel 029-817-5111

